

令和 6 年度事業報告書

I 施設の概要

1 開設年月日 平成 16 年 2 月 1 日

2 敷地面積 5,909.57 m²

3 建物面積 5,836.46 m²

4 利用定員 特別養護老人ホーム 90 名
短期入所生活介護（ショートステイ）10 名
老人デイサービスセンター 30 名
居宅介護支援事業所 35 名

5 職員の配置

令和 7 年 3 月 31 日現在

	特別養護老人ホーム (短期入所生活介護含む)	老人デイサービス センター	居宅介護支 援事業所	合 計
施 設 長	1	(兼務)	—	1
事 務 長	1	(兼務)	—	1
介 護 職 員	56(内パート等 18・常勤換算 52.7)	7(内パート 5・常勤 換算 5.8)	—	63
介護補助員	6(障害者雇用 5、常勤換算 4)	—	—	6
看 護 職 員	5	1	—	6
機能訓練指導員	1	1	—	2
生活相談員	3	2(兼務 1)	—	5
介護支援専門員	(兼務)	—	1(管理者)	1
管理栄養士	3(委託 1)	(兼務)	—	3
総 務 職 員	5(常勤換算 4.3、パート 2)	(兼務)	—	5
医 師	1(嘱託)	—	—	1(嘱託)
調 理 員	5(委託)	(兼務)	—	5(委託)
運 転 手	(総務兼務 2)	3(パート)	—	3
清 掃 員	3(委託)	(兼務)	—	3(委託)
守 衛 (夜 間)	3(委託)	(兼務)	(兼務)	3(委託)
合 計	93	14	1	108

Ⅱ 事業実施状況

1 法人全体として

令和6年度の高齢者介護を担う社会福祉法人の経営環境として、利用者・待機者の減少、物価高騰による赤字事業所の増加、人材採用の困難さ、そして職員の早期離職など、さまざまな問題が顕在化し深刻さを増している状況にありました。令和5年度には、全国の6割を超える特養が赤字であり、令和6年度には更に悪化していることが予想されます。

このような経営環境の厳しさを、ひしひしと感じている中、当法人の令和6年度の全体の収支状況は、人件費が増加したことにより赤字となっています。この人件費の増加は、介護職員等処遇改善加算の職員への支給をこれまで毎年5月(年1回)にまとめてしていた部分を、規程の変更により令和6年度は5月に前年度分を一括支給し、更に月毎に支給(令和7年5月にまとめて支給を予定していた分)するという2年分を支給したことによるものです。

この介護職員等処遇改善加算の支給方法の変更がなければ、収支は黒字でありました。そのように実質的な収支悪化を防いだ要因として、主力事業である特養において新たな加算の取得(栄養マネジメント強化加算、生産性向上推進体制加算Ⅱ、褥瘡マネジメント加算Ⅰ・Ⅱ、協力医療機関連携加算)、入院が少なかった事、取引業者の選定と交渉、修繕を極力自前でやる努力、水道光熱費や各消耗品の節約などがプラスの要因として上げられます。

一方、マイナス要因として、要介護高齢者を受け入れる施設の競合が激しさを増し、特養への入所申し込み及び待機者が減少していることが、強まっていると感じられます。

事業計画に挙げた目標の達成に向けて、特に自立支援介護と接遇の二つに力を入れ取り組みました。これにより介護の好循環が生まれ組織力も向上したと感じています。なかでも自立支援介護の成果が最も現れやすいのは入所施設である特養です。その具体的成果は以下の通りです。

(1) 認知症周辺症状(BPSD)の消失・軽減(せん妄の消失、覚醒状態の改善)。

介護負担の軽減・虐待防止や生産性の向上にも繋がる。

(2) 歩行など活動が多くなっているが、転倒による事故が減少。

歩行率41%(R6年10月現在) R6年度受診を要する事故5件、内骨折3件

(3) 入院が減少(介護施設で多いとされる誤嚥性肺炎・尿路感染症が殆どない)。

R6年度は、誤嚥性肺炎1件、尿路感染症0件

(4) オムツかぶれなどの皮膚トラブルがほぼ無い。

日中のトイレでの排泄94%(R6年10月現在)、褥瘡1名

(5) 食事の常食化・食事自立度の向上。

常食率66%(R6年10月現在)

(6) 下剤が必要なくなる(腸内環境が整い、疾病予防)。

下剤を服用していると朝方に大量の尿・便失禁で全身清拭、全身更衣、寝具交換を行うことが多々ありました。それが極めて少なくなりご利用者及び夜勤者の負担軽減になっています。

おむつ交換がとて少なくなる。

(7) ご利用者が元気になり、ご家族からも喜ばれる。

(8) 職員の遣り甲斐に繋がっている。

(9) 組織で取組む方向性の統一ができチームワークが良くなった。

(10) OJTが充実する。

(11) 原因を探究し、対策を考える積極的な介護に変化。

自立支援介護を取入れたことで以上のような具体的成果を生み、介護人材不足が深刻な問題になっている中、当法人は、必要とする介護人材を何とか確保できています。このことは、特筆すべきことに思えます。自立支援介護に加えて接遇に法人全体で取組んだことにより、更に高い介護の好循環を生むことができたと感じています。

新型コロナ対策については、10月21日に面会制限を一部緩和(全日可能・受入数を1日3組→8組に拡大、10分→15分迄に拡大)としています。クラスターの発生が2件(9月と12月~1月)ありま

したが、対応策を緩和（防護服をエプロンのみなど）しても 10～15 日程度で終息できています。また、新型コロナの陽性になった入所者全員が重症化することなく治癒されています。

昨年の理事会で承認を得た道路拡幅工事（島見町内 新潟市市道 北 4-54 号線）については、令和 7 年 3 月下旬から工事が開始され同年 7 月完成予定であり、概ね順調に進んでいます。

令和 6 年度は、介護事業所を運営するに厳しい状況であるなか、各部署・各職員が協力し合い良い成果がだせたと自負しています。

Ⅲ 事業別計画

1 特別養護老人ホーム

〈 目標 〉

自立支援介護を取り入れ、尊厳に配慮した支援を行う。

〈 計画 〉

(1) 自立支援介護による状態の維持・改善を目指す。

① 自立と活力を引き出し役割と生きがいのある生活づくりを行う。

→特養では、タオルやオシボリたたみを男女問わず積極的に行われる方が多いです。やはり生活に必要な作業を行うことで、役割を果たす生活の充実感が得られるようです。また、一緒に作業することで良い交流の場になっています。

② おいしく楽しんでもらえるよう常食化を目指す。

→常食化率は、主食 57%(前年度 58%)、副食 62%(前年度 62%)でした。河野歯科医師によるミールラウド(栄養士・看護師も同行)を行い、摂食状態をみて嚥下機能評価・嚥下訓練指導、義歯の作製・調整も充実して行えています。

③ 入所した日からトイレでの排泄を目指す。

→寝たきりの方にも入所した日から1日に1回ポータブルトイレに座ることを実施することで全体の 94%(2024 年 10 月現在)がトイレ又はポータブルトイレでの排泄が行われています。立ち上がる動作が十分にできない方に有効な機器(ささえ手)を全ユニットに設置しました。

④ 運動や歩行を行うことで心身の状態を改善し、豊かな生活が送れるよう支援する。

→なるべく、日常生活に付随する運動として、食事を摂るためにお部屋からリビングへの移動、排せつの際、リビングからトイレに移動するときに歩行器を使った歩行などを取り入れています。

(2) 尊厳ある看取り介護を目指す。

① ご本人が望む最期となるよう取組む。

→R6 年度、17 名(全退所者の 5 割強)の方を看取りました。以前は、退所者の 2~3 割合の方を看取ってきました。傾向として、最期をなぎさの里を希望されることが多くなっています。

② 慣れ親しんだ環境で自然で安らかな最期を迎えられるよう支援する。

→住み慣れたところで、苦しまず最期を迎えたいというニーズに応えられているように思います。

③ 最期は、ご家族との対面の機会を設けるよう努める。

→最期の 1~2 日前を予測しご家族へ連絡し、息を引き取られる前にお会いして頂くことが出来ていました。

(3) ユニットはご利用者の生活の場であるが、節度ある対応を行う。

① 尊厳に配慮した温かみのある接遇をおこなう。

→自然な温かみのある接遇になってきていますが、更によくなるよう努めたい。

② 接遇マニュアルを遵守する。

→タメ口について、全員が遵守できているところまでには至っていません。しかし、少しずつ良くなっていると感じています。基準を設けて、それを守るようにしないと悪化することは必然だと思いますので、全員が遵守できるよう取組みます。接遇は、対人サービスを行う上での基本として大切にしなければならないものであり、不適切なケアや虐待を防ぐためにも重要なものと認識しています。

(4) 生活環境を整える

① 居室は、使い慣れたものを設えるなど自分の部屋として寛げるよう整える。

→ご家族にご協力いただくことが必要になりますので入所のときに説明しています。そうすることで、ご本人になじみのある品物をそろえているお部屋が多くなっています。

②リビングは、他者と楽しく交流できる場とする。

→少しでも入所者同士の楽しい交流となるよう都度、お席の移動を行いました。

今年度は、テレビ画面で皆さんに懐かしいユーチューブ動画をご覧頂く機会を多くしています。そのことで、楽しい時間を共有する良い交流の機会にもなっていると感じています。

2 短期入所生活介護(ショートステイ)事業

〈 目標 〉

在宅生活が継続できるようケアを工夫し、自立した生活を送れるよう支援します。

〈 計画 〉

(1) 情報を共有し、一人ひとりのケアが統一出来るようにする。

→必要な情報を共有し、徹底することに欠けていました。そのことによりご利用者・ご家族から指摘を受けることが6回と多くありました。必要情報を把握しやすくすることと準備の段階から忘れていることや欠けていることは無いかなど、確実な点検及び一部ダブルチェックを取り入れるなど対策を立て行いました。サービスの基本として重要なことではありますが、不十分であり課題としてこれからも重点を置いて取り組んでいきます。

(2) ご利用者やご家族との対話を大切にし、意思や希望を反映したサービスを提供する。

→介護現場と生活相談員との話し合いを細目に行い、更に現場でご利用者・ご家族のニーズに合った対応ができるよう検討を進めました。対応が難しいニーズにも、どうしたら対応できるか工夫してきました。しかし、前項同様に不十分なところがあり、いかに徹底を図っていくかを課題として改善していきます。

(3) 処方されている薬に副作用が出現していないか注意を払い、副作用の疑われるものについてお知らせし、より安定した状態に繋げることで在宅生活を継続できるよう支援する。

→薬の副作用について、ご家族へ提案することは出来ませんでした。逆に不穏時薬が追加されることがありましたが、それまで服用している薬の副作用が出現していないかを検証することが不十分でした。

(4) 接遇を向上させ、気持ちよく利用できるよう努める。

→自分たちの接遇について、振り返り反省する機会を多く設けました。それによりご利用者から、満足いただけるようになってきているように感じています。更に、なぎさの里ショートステイの長所として定着できるよう努めていきたいと思えます。

(5) レクリエーションや日々の生活の中で、刺激になるよう楽しみや生きがいあるサービスを提供する。

→上半期は、レクリエーションを拡大できませんでしたが、下半期は、レクリエーション活動に前向きな職員が加わり、意識が高まりレクリエーション活動を多くし、楽しんで頂く機会を増やすことが出来ました。

(6) 自立支援介護と身体を使うレクリエーション等を通して、身体機能の維持・向上を図れるよう支援する。

→学校町ユニットとの体操の共同開催を継続しています。また、特養介護職員(ケア課長、日勤短時間介護士を中心として)の協力により、マシーンを使ったパワーリハビリ訓練を継続して行えたことで身体機能の維持・改善、意欲の向上に繋がられました。

水分摂取については、ドリンクが目につきやすいところに保冷庫を設置した効果もあり、安定して提供できています。そのことにより排便が整い、覚醒状態の改善がみられました。

(7) 受け入れ困難と思われる方に対しても、各関係部署との十分な打ち合わせにより、受入れられるよう努める。

→介護サービス未利用でショートステイが初めてという方が増え、情報が少ない方を

受入れ、なかに認知症周辺症状(BPSD)による対応の難しい介護が求められました。ヒヤリハット情報の活用や細目な情報共有を行うことで、困難なケースもなんとか対応ができました。

- (8) ユニット内の環境を整え、危険が無いよう安心と安全を提供できるよう支援する。

→転倒の危険性が高い方のどこが危険なのかを評価し、居室などの環境を工夫することで大きな事故を回避できました。安全な環境を確保するために、無駄な物品の整理を進めていますが、今後も継続して環境整備を行います。

その他として、認知症周辺症状(BPSD)の介護抵抗や帰宅要求の強い方など、対応の難しい方のご利用が例年と比較すると多かったです。その困難な部分を生活相談員とも連携し、現場の介護士も実に前向きに取り組んでいました。反面、ご利用者及びご家族からの苦情・ご指摘が6件と多く挙がりました。内容は、居室の備品など受け入れ準備の不備、与薬ミス、パジャマで帰宅させてしまう、などでした。今後の課題として、有効なチェック方法で確実に確認を行うなどの対策をとります。

3 通所介護（デイサービスセンター）事業

〈 目標 〉

チーム力を高めるよう職員同士互いに思いやりを持って業務にあたる。

直ぐにあきらめず粘り強く、どうすれば達成・改善できるか思考し取り組む。

接遇マニュアル及び私語に関する規定を守る。

〈 計画 〉

- (1) チーム力を発揮し、なぎさの里らしい特徴ある利用者中心のサービスを創造し、提供する。

- ① ご利用者の趣味や興味のあるものなどニーズを把握し、レクリエーション等の活動プログラムを豊富に用意し、ご利用者が選択できるよう充実させる。

→施設内の共用スペースに飾る折り紙作品を10名ほどのご利用者により作成頂き、完成の達成感を味わってもらうことが出来ました。洗濯後のタオル掛けやたたみ物作業、皿の片づけなどに参加され、役立っていることを実感されるなど、充実感を得られているようです。DVDプレイヤーを設置し、歌謡曲などを鑑賞できるようにし、数名の方に喜んで頂きました。

- ② 機能訓練マシンと遊歩道の活用を積極的に行い、身体・認知機能の維持・向上を目指す。

→多くの方が意欲的に取り組んだことで、難易度の高い加算であるADL維持等加算Ⅱを取得できました。これは、身体機能の維持・改善が出来ているという機能訓練の成果が裏付けられたこととなります。

- ③ 園芸活動を積極的に取り入れ、季節を感じ楽しんで頂く。

→大根や人参など昨年より豊作でした。野菜の成長を見て頂き、季節感を感じて頂きました。収穫した野菜を調理し召し上がって頂くことで喜んでもらえました。

- ④ 送迎時にご家族との情報交換や連絡帳を充実させることにより、ニーズの把握と関係性の構築を図る。

→新しい職員も多く、関係性の構築上も重要で、それにより会話が増え、お家での様子を伺うことが出来、良い情報交換になっています。

- ⑤ ご利用者には温かい接遇を行い、スタッフ同士では思いやる気持ちを忘れない。

→ご利用者への接遇は良くなっています。細かく見ると少し言い方がきついと感じるところ、職員間の対応では、もう少し思いやりを持った対応が欲しい場面もありましたので、今後の課題として直していきたいです。

- (2) 個別ケアの充実に努める。

- ① ご利用者の意思及び人格を尊重し、充実した在宅生活が送れるよう支援していく。

→耳掃除や爪切りなど必要時や希望されたときにも応じています。また、プラットホ

ームでの起き上がりの運動をしたい方に対しても対応し、満足して頂けるようにしています。

- ② ご利用者のご家族のニーズに応じた介護計画を作成し、計画に基づいた質の高いサービスを提供する。

→介護計画の作成を見直すときに、現在のご利用者の状態に則した計画となるよう取り組んで来ました。しかし不十分なところがあり、更に改善が必要なところです。

- ③ 「自立支援介護理論」を推進し、心身機能の維持・向上が図れるよう支援する。

→歩行訓練が定着し、車椅子の方で歩行できるようになった方もいます。まだ理論の理解が不十分な者も居り、今後その部分をアプローチすることで更に個別性のある訓練にしていくことが課題です。

- ④ ご利用者のご家族に「自立支援介護」の理解を得る。

→かわら版により情報提供を行っています。今後は、レクリエーションの時間や送迎のときにも情報を伝えるようにしたいと思います。

- ⑤ 心身機能の状態を確認し、社会性が保てるよう散歩や外出などを積極的に行う。

→遊歩道の散歩は冬場を除き行いました。外出は、お花見、ブドウ狩り、ドライブのみでした。今後は、外出を増やし楽しんで頂きたいと思います。

- ⑥ ご利用者の好みとペースに合わせ、プライバシーを十分に配慮した安全で快適な入浴を提供する。

→お一人で入浴したい方、早めに声を掛けて欲しい方には、ご希望に沿った対応ができました。また、ぬる湯と熱目の湯の浴槽を用意し希望する方にお入り頂いています。脱衣所では、カーテンを活用しプライバシーに配慮した対応を行いました。入浴中の大きな事故(転倒など)は起きませんでした。長湯によると考えられる体調不良が数件ありました。研修では、おおよそ5分が目安とすることとありましたので、タイマーを使い、湯あたりを予防しています。入浴が一番の目的で利用されている方も多くいらっしゃいますので今後も大事にしていきたいと思います。

(3) デイサービスセンターにふさわしい食事を提供する。

- ①「温かいものは温かいうちに」を基本に、より美味しく召し上がって頂けるよう提供する。

→汁類、ご飯は直前によそい提供しています。「美味しい」「もっと欲しい」という声はありますが苦情はほぼありません。提供ミスは何度かありましたので注意していきます。

- ②畑で収穫した野菜を食事や調理レクに取り入れ、幅広く食事を楽しんでもらう。

→昨年度より収穫が多く、その野菜を使い提供する機会も増やすことが出来、楽しんで頂けました。

(4) 介護技術について

- ①ご利用者一人ひとりの状態に合わせケアできるよう介護技術を身に着ける。

→利用者数が多くなったときに、混乱がありましたが西田サブリーダーが入浴介助に加わることで徐々に落ち着き、一人ひとりの状態にあった入浴ケアが出来ていました。

- ②重度の方に対しても工夫をして介護技術の向上を目指す。

→要介護4が最重度でしたが、問題なく対応できていました。

(5) 健康管理について

- ①心身の状態把握、異常の発見に努める。また、関係各所への連絡を密に行い関係性の構築を図る。

→信頼にもつながるところですので細目に連絡するよう努めました。体重の増減が2kg以上あったときに報告するようにしました。他にも報告した方が良いものがあればするように心がけます。

- ②感染情報を迅速に把握し、感染予防に努める。

→年度末から新型コロナの発生からクラスター化した事案が発生しています。反省として、一人でも発生した時点で、検査を徹底し、換気回数を増やし拡大を防ぐよう対応する

ことが大切です。

(6) プラス収支を目指す。

①ご利用者を効率的に受け入れられるよう体制を整備する。

- ・ご利用者中心のサービスに傾注できるよう体制を整備する。
- ・1日無料お試しサービスや半日利用を定着させる。

→業務の効率化では、ご利用者がより過ごしやすくなるよう進めています。お試し利用や半日利用の方も増えています。新規利用や半日から1日利用に繋がった方もいます。ベッド・送迎車・特浴の利用状況を確実に把握し受け入れています。

②活動内容を示したチラシを作成し居宅支援事業所や地域包括支援センターに配布し、新規利用者の獲得を目指す。

→広報誌の「かわら版」を季節ごとに年4回発行し、サービス内容をお伝えしています。利用する毎にポイントが付与されるポイント制度を導入し、規定のポイントで景品をお渡しすることを始めました。喜んで頂いています。

③業務の見直しを行い、時間外労働の削減を図る。

→時間外労働は、ほぼゼロに出来ています。今後も継続して効率化を進めていこうと思います。

④困難な状況が起きた際にも、すぐに無理だと考えず、どうしたら乗り越えられるかを追求する。

→これが出来ている職員と出来ていない職員がいます。出来る職員が多くなるようアプローチを継続して行きます。

4. 居宅介護支援事業所

〈 目標 〉

ご利用者、ご家族の希望、相談に対しては公正中立の立場で居宅介護支援を行う。介護事業所とは、協力的ではあるが偏りなく公正な関係を築く。

〈 計画 〉

(1) 介護サービスを選ばれるご利用者、ご家族への支援について

課題分析から、ご利用者及びご家族に必要な支援を根拠から提案します。決定の際は、利用される方の意思を尊重しつつ、問題の解決を図ります。

→新規に介護サービス利用の相談の際は、現在の身体・認知機能の状態及びご家族の支援が可能な範囲を勘案し、必要なサービスの提案を行うよう支援しました。相談の際、予め利用するサービスの種類や事業所をおおよそ決めていることが多くあります。ご本人・ご家族は、心身の状態の改善及び負担の軽減を当然ご希望されますが、予後や予測される負の部分について目を向けていないことがあります。そうした場合、提案から今後の予測される注意点などをお伝えするようにしました。今後、ご利用者側が抱える問題に対して速やかに対応できるようにしていきます。

(2) 地域包括ケアシステムへの寄与について

希望する住まいでの生活が継続できるよう、地域包括ケアシステムの中の一居宅介護支援事業所として介護事業所及び行政との連携を重視して支援を行う。

→連携することが多いのは、地域包括支援センターです。特に一人暮らしや高齢者夫婦世帯の場合、地域包括支援センターと同行し訪問や支援内容の相談を行います。保証人として頼れる親族がいない場合には、地域包括支援センターの社会福祉士が対応し、難病等の診断を受けている方には地域包括支援センターの保健師と連携し対応しています。

成年後見人の申請や要介護認定を受けている高齢者夫婦に対して同席して面談を行っています。今後も専門に対応できる機関との連携で在宅生活を支援していきます。

(3) 社会資源の活用について

介護サービス事業所や行政が行う支援制度だけでなく、地域住民が実施するボランティア、配食サービスなどを有効に活用できるように支援いたします。

→食事について、高齢者だけの世帯では、買い物や食事の準備がしっかりできなかったり、不規則になりがちです。配食サービスをご利用の方が増えています。また、移動販売を活用する方も増えています。地域包括支援センターから必要な方に移動販売の情報提供を行うよう連絡があります。松浜地区では今後、ゴミ捨てやちょっとしたお手伝いを行う地域住民ボランティア団体が今年度中に活動を開始すべく準備しているとのことでした。必要な方に紹介できるよう確認していきます。

IV 定例会議・委員会等

名 称	内 容 等		対 象 者
管理者会議	施設の運営や決定に関するこ と	適時	施設長、事務長、課長
運営会議	施設全体にかかわる課題等の 協議、検討、連絡調整に関す ること	月 1 回	管理職、各部門・職種の 代表者
幹部会議（含む生産性向上委 員会）	各部門から提案された課題を 協議する	月 2 回	施設長、事務長、ケア課 長、生活相談員主任、看 護主任、デイリーダ
デイサービスセンター会議	デイサービスの運営、課題、 連絡調整に関するこ と	月 1 回	施設長、事務長、デイリ ーダ（必要時他職員）
ユニットリーダー会議	ユニットの運営、ケアの問題 や課題、連絡調整に関するこ と	月 1 回	ケア課長、看護主任、グ ループリーダー、リーダー
給食会議	食事状況の把握と見直し、行 事食等献立の検討、食生活に 関する調査等栄養に関するこ と	月 1 回	施設長、事務長、ケア課長、 デイ職員、栄養士、介護職 員、看護職員、日清職員
防災会議	災害対策を検討する。	年 5 回	施設長、事務長、ケア課長、 デイ職員、栄養士、介護職 員、看護職員、施設管理
地域活動会議	地域活動を通して関係性の構 築と地域ニーズを把握し活動 を展開する。	月 1 回	議長以下 7～10 名
看護師会議	医療・看護業務の課題、連絡 調整に関するこ と	月 1 回	特養・デイの看護職員
生活相談員会議	生活相談業務の課題、連絡調 整に関するこ と	月 1 回	特養・デイの生活相談員
各ユニット会議	ユニットの運営、課題、ケア 向上に関するこ と	月 1 回	ユニットの職員
ケースカンファレンス	個々のケアプランについて検 討する	週 1 回	施設長、ケア課長、ケア マネージャ、生活相談 員、栄養士、看護職員、 機能訓練指導員、担当介 護職員
ショートステイ会議	ショートステイの調整に関す ること	月 1 回	ケア課長、デイリーダー、 生活相談員、担当グルー プリーダー、担当看護職員

入所検討会議	入所判定に関する事	月1回	関係職員、第三者委員
苦情処理委員会	苦情処理に関する事	随時	//
身体拘束検討委員会	身体拘束の可否及び解除対策に関する事	随時	各部門・職種の長
リスクマネジメント(含む感染、身体拘束廃止、虐待防止)委員会	事故防止・身体拘束・虐待防止・接遇に関する事	月1回	各部門・職種の代表者
介護力向上委員会	科学的介護に関する事	月1回	//
広報・ボランティア委員会	広報・ボランティア・レクリエーションに関する事	月1回	//
人事考課制度検討委員会	人事考課制度、及び教育と研修に関する事	月1回	施設長、事務長、ケア課長、看護主任、デイリーダ

V 利用者の状況

1. 特別養護老人ホーム 定員90名

(1) 入退居の状況

令和6年4月1日～令和7年3月31日

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入 所	在 宅			1										1
	長期ショート	2	1	3				1		1		1		9
	特養・有料ホーム							1			1			2
	老 健					1	1		1		1			4
	病 院	1	2	2	1		1						1	8
	グループホーム					1								1
	小規模多機能													0
	サ高住								1	1				2
	合 計	3	3	6	1	2	2	2	2	2	2	1	1	27
退 所	死亡(ターミナル)	1	1	1	2		2		1	1	2	3	2	16
	医療機関	2	1			1			1		1		2	8
	死亡(病院)	1	1	2				1	1					6
	自 宅													0
	介護施設													0
合 計		4	3	3	2	1	2	1	3	1	3	3	4	30

(2) 月別入退院者数

令和6年4月1日～令和7年3月31日

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入 院	男 性	1			1								1	3
	女 性	4	4		1		1	3	4	1	4	3	2	27
	合 計	5	4	0	2	0	1	3	4	1	4	3	3	30
退 院	男 性	1					1						1	3
	女 性	2	5	1				1	1	2	6		1	19
	合 計	3	5	1	0	0	1	1	1	2	6	0	2	22

(3) 主要疾患別入院状況

令和6年4月1日～令和7年3月31日

区 分	内科系疾患	外科系疾患	精神系疾患	合 計
男 性	1	2		3
女 性	20	5	2	27
合 計	21	7	2	30

(4) 年齢別要介護度

令和7年3月31日現在

年齢区分 (歳)	利用者数				要 介 護 度														
					要介護1			要介護2			要介護3			要介護4			要介護5		
	男性	女性	計	%	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
～64			0	0.0			0			0			0			0			0
65～69	1		1	1.1			0			0			0	1		1			0
70～74		2	2	2.2			0			0			0		1	1		1	1
75～79	2	2	4	4.4			0			0	1		1		1	1	1	1	2
80～84	1	9	10	11.1			0			0	1	6	7		2	2		1	1
85～89	4	21	25	27.8			0			0	4	8	12		7	7		6	6
90～94	2	25	27	30.0			0			0	1	13	14	1	4	5		8	8
95～99	1	10	11	12.2			0			0	1	4	5		5	5		1	1
100～	1	1	2	2.2			0			0	1	1	2			0			0
合 計	12	70	82	91.1	0	0	0	0	0	0	9	32	41	2	20	22	1	18	19

(5) 利用率

93.8%

(前年度比 ±0%)

2 短期入所生活介護(ショートステイ)

定員10名

(1) 要介護度別実績

令和6年4月1日～令和7年3月31日

区分	要 介 護 度							合計
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
実人数	1	3	7	5	19	15	1	51
延べ日数	9	73	114	612	896	1063	25	2,792

(2) 利用状況

利用率 76.5%

(前年度比 +2.6%)

3 老人デイサービスセンター

定員30名

(1) 要介護度別実績

令和6年4月1日～令和7年3月31日

区分	事業対象 (認定外)	要 介 護 度							合計
		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
実人数	0	12	101	138	108	163	63	2	587
延べ日数	0	50	668	1,085	1,223	1,587	542	5	5,160

(2) 平均利用状況

①利用率

55.6%

(前年度比 -1.2%)

②1日の平均利用者数

16.7人

(前年度比 -0.3人)

4 居宅介護支援事業所

要支援・要介護度別登録者数 令和6年3月末現在

要介護度	登録者数
要支援1・2	10
要介護 1	11
要介護 2	6
要介護 3	7
要介護 4	2
要介護 5	1
合 計	37

※前年度同時期比 +2名

VI 行事等の状況

月	実 施 内 容
4 月	4 日：デザートバイキング
5 月	2 日：お好み焼きレクリエーション
6 月	14 日：恵泉幼稚園訪問 16 日：梅の収穫 18 日：笹団子作り
7 月	12 日：水分提供レクリエーション 15 日：海の日島見浜海岸清掃
8 月	
9 月	
10 月	9 日：敬老会表彰式
11 月	6 日：特養食事提供レクリエーション
12 月	
1 月	
2 月	
3 月	6 日：デイサービスおやつレクリエーション

Ⅶ 令和6年度職員研修の状況

1.施設内研修

研修名	月 日	講習者	受講者
新人研修	4月1日(月)	施設長、事務長、ケア課長、看護主任、総務神田	看護師1名、ケアワーカー3名
令和5年度下半期事故報告・ヒヤリハット報告会(本町・旭町)	4月17日(水)	リスクマネジメント委員	Gリーダー、リーダー、ケアワーカー2名
令和5年度下半期事故報告・ヒヤリハット報告会(古町・西堀)	5月1日(水)	リスクマネジメント委員	Gリーダー、リーダー、ケアワーカー3名
令和5年度下半期事故報告・ヒヤリハット報告会(白山・川岸)	5月1日(水)	リスクマネジメント委員	ケアワーカー4名
令和5年度下半期事故報告・ヒヤリハット報告会(デイサービス)	5月2日(木)	リスクマネジメント委員	デイリーダー、サブリーダー、相談員1名、看護師2名、ケアワーカー2名
令和5年度下半期事故報告・ヒヤリハット報告会(上大・東堀)	5月15日(水)	リスクマネジメント委員	リーダー、ケアワーカー4名
新人研修	6月4日(月)	施設長、事務長、ケア課長、看護主任、総務神田	ケアワーカー1名
令和5年度下半期事故報告・ヒヤリハット報告会(西大畑・学校町)	6月4日(火)	リスクマネジメント委員	Gリーダー、リーダー、ケアワーカー4名
緊急時対応講習会	6月19日(水)	事務長、渡辺(寿)看護師、板垣看護師	Gリーダー、デイサブリーダー、ケアワーカー8名
令和5年度下半期事故報告・ヒヤリハット報告会(全体)	6月21日(金)	石山事務長(リスクマネジメント委員長)	施設長、ケア課長、居宅管理者、看護主任、生活相談員主任、デイリーダー、Gリーダー5名、管理栄養士
新人研修	7月1日(月)	施設長、事務長、ケア課長、看護主任、総務神田	ケアワーカー2名
緊急時対応講習会	7月3日(水)	渡辺(寿)看護師、板垣看護師	ケア課長、ケアワーカー8名、看護師1名
新人研修	8月1日(木)	施設長、事務長、ケア課長、看護主任、総務神田	ケアワーカー1名
高齢者虐待防止研修会	8月23日(金)	施設長	事務長、ケア課長、居宅管理者、生活相談員主任、看護主任、デイリーダー、Gリーダー5名、管理栄養士
高齢者虐待・不適切ケア研修会	8月30日(金)	ケア課長	看護主任、Gリーダー5名、リーダー4名
新人研修	9月2日(月)	施設長、事務長、ケア課長、看護主任、総務神田	ケアワーカー1名
高齢者虐待・不適切ケア研修会(白山・川岸)	10月3日(木)	ユニットGリーダー	リーダー1名、ケアワーカー5名
口腔ケア研修	10月23日(水)	こうの歯科医院	施設長、ケア課長、看護主任、看護師2名、Gリーダー1名、リーダー2名、ケアワーカー7名、生活相談員主任、生活相談員2名、管理栄養士2名
令和6年度上半期事故報告・ヒヤリハット報告会(本町・旭町)	10月30日(水)	リスクマネジメント委員	Gリーダー、リーダー、ケアワーカー2名
デイサービス入浴研修	11月7日～11月20日	デイリーダー	サブリーダー、相談員2名、看護師2名、ケアワーカー5名
新人研修	11月11日(月)	施設長、事務長、ケア課長、看護主任、総務神田	ケアワーカー3名
令和6年度上半期事故報告・ヒヤリハット報告会(古町・西堀)	11月13日(水)	リスクマネジメント委員	Gリーダー、リーダー、ケアワーカー2名
感染予防講習会及び感染症発生時における事業継続研修	11月20日(水)	事務長、渡辺(寿)看護師、板垣看護師	リーダー1名、サブリーダー1名、ケアワーカー6名
感染予防講習会及び感染症発生時における事業継続研修	11月27日(水)	事務長、渡辺(寿)看護師、板垣看護師	デイリーダー、ケアワーカー6名、相談員1名
令和6年度上半期事故報告・ヒヤリハット報告会(上大・東堀)	12月4日(水)	リスクマネジメント委員	Gリーダー、リーダー、ケアワーカー3名
令和6年度上半期事故報告・ヒヤリハット報告会(白山・川岸)	12月4日(水)	リスクマネジメント委員	Gリーダー、リーダー、ケアワーカー5名
令和6年度上半期事故報告・ヒヤリハット報告会(西大畑・学校町)	12月12日(木)	リスクマネジメント委員	Gリーダー、ケアワーカー3名
新人研修	1月6日(月)、9日(木)	施設長、事務長、ケア課長、看護主任、総務神田	ケアワーカー1名、総務職員1名
入浴介助加算に関する研修	1月15日(水)～	全国老人福祉施設協議会	デイリーダー、サブリーダー、相談員2名
令和6年度上半期事故報告・ヒヤリハット報告会(デイサービス)	1月22日(水)	リスクマネジメント委員	デイリーダー、サブリーダー、相談員2名、看護師2名、ケアワーカー1名
令和6年度上半期事故報告・ヒヤリハット報告会(全体)	1月24日(金)	石山事務長(リスクマネジメント委員長)	施設長、ケア課長、居宅管理者、看護主任、生活相談員主任、デイリーダー、Gリーダー5名、管理栄養士
高齢者虐待防止研修会	1月30日(木)	事務長	粕川ケア課長、居宅管理者、リーダー2名、看護師2名、ケアワーカー2名
新人研修	3月3日(月)	施設長、事務長、ケア課長、看護主任、総務神田	看護師1名、介護補助1名
看取りケア講習会	3月19日(水)	看護主任、石井看護師	Gリーダー1名、リーダー1名、ケアワーカー6名
口腔ケア研修	3月26日(水)	こうの歯科医院	施設長、ケア課長、看護師4名、Gリーダー3名、ケアワーカー13名、生活相談員2名、管理栄養士2名

2.施設外研修

役員研修の実施状況

研 修 名	日 時	会 場	出席者氏名
介護経営セミナー	5月23日(木)	新潟県健康づくり・スポーツ医学科学センター	石山事務長
令和6年度 経営者研修会	6月3日(月)	新潟ユニゾンプラザ	半田施設長
「認知症」9人の名医 出版記念セミナー	9月22日(日)	オンライン	半田施設長
バーセルインデックス評価研修	配信期間1月7日(火)～3月31日(月)	オンライン	半田施設長
新潟市 介護サービス事業所集団指導(特養)	1月21日(火)	オンライン	石山事務長

特別養護老人ホーム

研 修 名	日 時	会 場	出席者氏名
新入社員研修	4月8日(月)、9日(火)	新潟ユニゾンプラザ	佐藤(さ)ケアワーカー
決算手続きまきまごとセミナー「決算書の読み方と分析」	4月23日(火)	オンライン	総務伊藤
自立支援介護 Web研修会2024	4月23日、5月28日、6月25日、7月23日、8月27日、9月24日、10月22日、11月26日、12月17日、1月28日、2月25日、3月25日	オンライン	(全回)藤田ケアワーカー、本間(真)ケアワーカー (第6回)滝本ケアワーカー (第8回)平野ケアワーカー (第9回)美濃口ケアワーカー (第10回)関口ケアワーカー
介護と連携・協働して行う予防的看護ケア	4月23日(火)、5月29日(水)	オンライン	伊藤看護師
これだけは外せない! 褥瘡予防ケア	5月17日(金)	オンライン	風間看護師
学術大会 原点からの挑戦	5月18日(土)、19日(日)	タワーホール船堀	藤田ケアワーカー、本間(真)ケアワーカー
エルダー研修	5月28日(火)	新潟ユニゾンプラザ	佐藤リーダー、中野リーダー
人材開発・DX推進・看取り実践の小田原福祉視察研修ツアー	5月29日(水)	特別養護老人ホーム潤生園	林看護主任
訪問調査員研修	5月30日(木)	新潟市北区役所	池田相談員
令和6年度 新潟県介護支援専門員「専門研修課程Ⅰ」	配信期間①6月27日(木)～7月18日(木)まで②7月25日(木)～8月20日(火)までzoom 受講 7月22日(月)、23日(火)、8月22日(木)	オンライン	小黒相談員
2024 実務者研修通信課程	6月30日(日)、7月20日(土)、8月18日(日)、9月22日(日)、10月20日(日)、11月17日(日)	新潟ユニゾンプラザ	石倉ケアワーカー
地域リハビリテーション連携強化研修会	6月22日(土)	済生会新潟病院	石井看護師
基礎研修(演習)における「演習指導講師」	7月12日(火)	特別養護老人ホーム阿賀野八雲苑	関川看護師
より良い職場づくりのための業務改善研修	7月18日(木)	新潟ユニゾンプラザ	駒澤リーダー、山田リーダー
美濃先生の高齢者の急変時対応セミナー高齢者に多いケース 一部 二部	7月18日(木)、7月19日(金)	オンライン	伊藤看護師
リーダーコミュニケーション研修	7月22日(月)	新潟ユニゾンプラザ	坂井リーダー、高橋リーダー
2024 実務者研修通信課程	7月25日(木)、8月22日(木)、9月12日(木)、10月24日(木)、12月5日(木)、11月2日(木)	新潟ユニゾンプラザ	本間(豊)ケアワーカー、渡邊(敬)ケアワーカー
令和6年度テーマ別研修ー認知症ケアー	7月25日(木)、10月1日(火)、12月3日(火)	燕三条地場産業振興センター メッセピア	金田(由)ケアワーカー
令和6年度地域看護連携強化事業 北区看看連携研修会	7月30日(火)	豊栄病院 多目的ホール	関川看護師
健康は「おなか」から	8月3日(土)	新潟ユニゾンプラザ	粕川ケア課長
義務化・加算新設された病院連携徹底解説	8月7日(水)	オンライン	林看護主任
介護現場における口腔ケア	8月29日(木)	新潟県健康づくり・スポーツ医学科学センター	上野ケアワーカー
介護老人福祉施設「杜の風・上原」見学会	9月4日(水)	杜の風・上原(東京都渋谷区)	駒澤リーダー、橋本リーダー、佐藤リーダー、風間看護師
社会福祉施設労働災害防止研修会	9月6日(金)	新潟美咲合同庁舎2号館 4階共用会議室	林看護主任
介護技術研修会	9月8日(日)	新潟ユニゾンプラザ	佐藤さくらケアワーカー、佐藤真ケアワーカー
気づき力研修	9月9日(月)	オンライン	平野麻ケアワーカー
ネスレ臨床栄養WEBセミナー～高齢者の食欲不振に向き合う～	9月10日(火)	オンライン	五十嵐管理栄養士、小室管理栄養士
「認知症」9人の名医 出版記念セミナー	9月22日(日)	オンライン	ケア課長、林看護主任、伊藤看護師、風間看護師、磯部リーダー、北ケアワーカー、斎藤愛ケアワーカー、美濃口ケアワーカー
笑顔を増やし機能回復につながるレクリエーション	9月23日(月)	オンライン	上野ケアワーカー
三好春樹の虐待防止-拘束廃止研修	9月29日(日)	新潟テルサ	磯部リーダー、川島ケアワーカー
コーチング研修	9月30日(月)	新潟ユニゾンプラザ	橋本リーダー
新潟水俣病ケアガイド研修会	10月4日(金)	オンライン	渡辺看護師
義務化された財務諸表公表を徹底解説	10月8日(火)	オンライン	総務伊藤
危険物取扱者保安講習	10月9日(水)	新潟テルサ	総務神田
令和6年度第2回 喀痰吸引等研修	10月4日(金)、8日(火)、11日(金)、15日(火)、18日(金)、22日(火)、25日(金)、29日(火)、11月1日(金)、11月5日(火)	特別養護老人ホーム阿賀野八雲苑	北ケアワーカー
令和6年度 新潟市養介護施設・養介護事業所管理者向け高齢者虐待防止研修会(テーマ1)養介護施設・事業所運営における虐待防止の具体的な手法と効果をあげるためのポイント	10月10日(木)	オンライン	粕川ケア課長
自分らしいリーダーシップの発揮法をみつけてみませんか	10月17日(木)	新潟ユニゾンプラザ	橋本リーダー
基礎研修(演習)における「演習指導講師」	11月5日(火)	特別養護老人ホーム阿賀野八雲苑	関川看護師
令和6年度 新潟市養介護施設・養介護事業所管理者向け高齢者虐待防止研修会(テーマ2)家庭内で起こる虐待の予兆をどのように察知し、早期介入・早期支援につなげるか	後日視聴	オンライン	粕川ケア課長
北区感染症対策研修会	11月21日(木)	豊栄病院 多目的ホール	渡辺看護師

2024年度 SNS・ソーシャルメディアを利用した広報力向上講習会	11月21日(木)	オンライン	総務伊藤
ご当地連携研修会	11月26日(火)	内野まちづくりセンター	池田相談員
令和6年度 人材確保・育成・定着セミナー	11月26日(火)	オンライン	総務笠原
中小企業が優先的に勤怠管理をシステム化する理由	11月27日(火)	オンライン	総務笠原
民間の高齢者施設を知る～差別化としての高価格と低価格の二極化～	11月29日(金)	オンライン	田坂相談員主任
介護職員初任者研修	12月10日(火)、17日(火)、20日(金)、23日(月)、24日(火)、1月10日(金)、13日(月)、14日(火)、17日(金)、20日(月)、21日(火)、24日(金)、27日(月)、31日(金)、2月27日(木)	新潟(東大通野村ビルC)教室	山本ケアワーカー
認定調査従事者研修	1月31日(金)	豊栄地区公民館	田坂相談員主任
新LIFEシステム徹底攻略	12月17日(火)	オンライン	総務阿部
新LIFEシステム徹底攻略	12月26日(木)	オンライン	総務伊藤
介護職員初任者研修	1月7日(火)、8日(水)、10日(金)、14日(火)、17日(金)、21日(火)、28日(火)、2月4日(火)、11日(火)、15日(土)、18日(火)、22日(土)、25日(火)	ニチイ新潟、新潟南、新発田校	佐藤祐ケアワーカー
処遇改善加算の最新動向を徹底解説	1月17日(金)	オンライン	総務阿部
社会福祉法人会計基準実践的決算講習	配信期間1月27日(月)～5月2日(金)	オンライン	総務瀧澤
認知症の方に寄り添った排便ケア	2月1日(土)	オンライン	海津看護師
令和6年度喀痰吸引等指導者講習	オンライン配信期間あり 実地2月27日(木)	オンライン+実地(新潟ユニゾンプラザ)	伊藤看護師
改正育児介護休業法等の説明会	2月13日(木)	新潟美咲合同庁舎	総務笠原
新潟市 介護サービス事業所集団指導(ショート)	2月14日(金)	オンライン	粕川ケア課長
科学的介護情報システム研修会	配信期間3月7日(金)～5月30日(金)	オンライン	総務阿部

デイサービスセンター

研 修 名	月 日	会 場	受講者
介護施設の平時からの実践的な感染対策	配信期間5月17日(金)～21日(火)	オンライン	板垣看護師
令和6年度 第1回 認知症介護実践者研修	6月21日(金)、27日(木)、28日(金)、7月16日(火)、19日(金)、8月5日(月)、8月23日(金)(修了式)	新潟テルサ 3階大会議室	西田サブリーダー
令和6年度 介護事業所運営 公開勉強会	8月13日(火)	オンライン	古俣相談員
データを徹底活用して営業を攻略する	9月24日(火)	オンライン	斎藤相談員
令和6年度 新潟市養介護施設・養介護事業所管理者向け高齢者虐待防止研修会(テーマ1)養介護施設・事業所運営における虐待防止の具体的な手法と効果をあげるためのポイント	10月10日(木)	オンライン	海沢リーダー
令和6年度 新潟市養介護施設・養介護事業所管理者向け高齢者虐待防止研修会(テーマ2)家庭内で起こる虐待の予兆をどのように察知し、早期介入・早期支援につなげるか	11月8日(金)	オンライン	海沢リーダー
北区感染症対策研修会	11月21日(木)	豊栄病院 多目的ホール	板垣看護師
入浴介助加算に関する研修	配信期間12月2日(月)～3月7日(金)	オンライン	海沢リーダー、他
新潟市 介護サービス事業所集団指導(通所)	1月25日(土)	オンライン	海沢リーダー
令和6年度 新潟市認知症介護実践者研修等総括講座	3月3日(月)	新潟ユニゾンプラザ	西田サブリーダー

居宅介護支援センター

研 修 名	日 時	会 場	出席者氏名
民生委員とケアマネジャーとの座談会	8月19日(月)、9月19日(木)、10月16日(水)	8月:北出張所 9月:濁川連絡所 10月:南浜連絡所	布川居宅管理者
令和6年度 在宅向けBCP 公開勉強会	9月3日(火)	オンライン	布川居宅管理者
令和6年度 新潟市養介護施設・養介護事業所管理者向け高齢者虐待防止研修会(テーマ1)養介護施設・事業所運営における虐待防止の具体的な手法と効果をあげるためのポイント	10月10日(木)	オンライン	布川居宅管理者
令和6年度 新潟市養介護施設・養介護事業所管理者向け高齢者虐待防止研修会(テーマ2)家庭内で起こる虐待の予兆をどのように察知し、早期介入・早期支援につなげるか	11月8日(金)	オンライン	布川居宅管理者
精神疾患を抱える人の地域生活をささえるために	11月12日(火)	オンライン	布川居宅管理者
新潟市 介護サービス事業所集団指導(居宅)	1月29日(水)	オンライン	布川居宅管理者